

授業評価アンケート結果(2017 秋)

担当者：杉本憲彦

科目名：物理学 II(実験を含む) 「気象を物理で語る」

実施時期：秋学期最終講義日

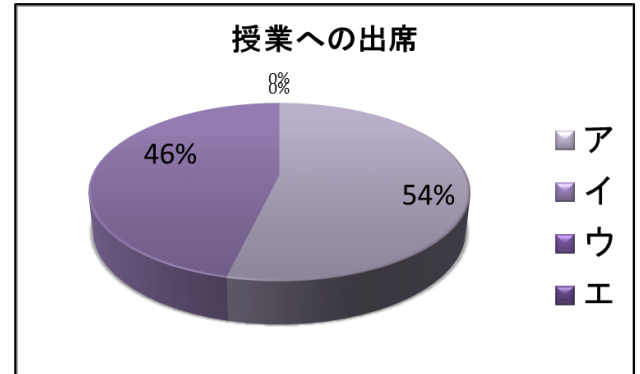
科目設置：日吉

履修者数：155 名

回収数：121 名

1. 授業への出席

ア 全部出席した	65 人
イ ほとんど出席した(80%程度)	56 人
ウ あまり出席しなかった(50%程度)	0 人
エ ほとんど出席しなかった	0 人



2. 授業について

A=そう思う B=どちらかといえばそう思う
C=どちらかといえばそう思わない D=そう思わない

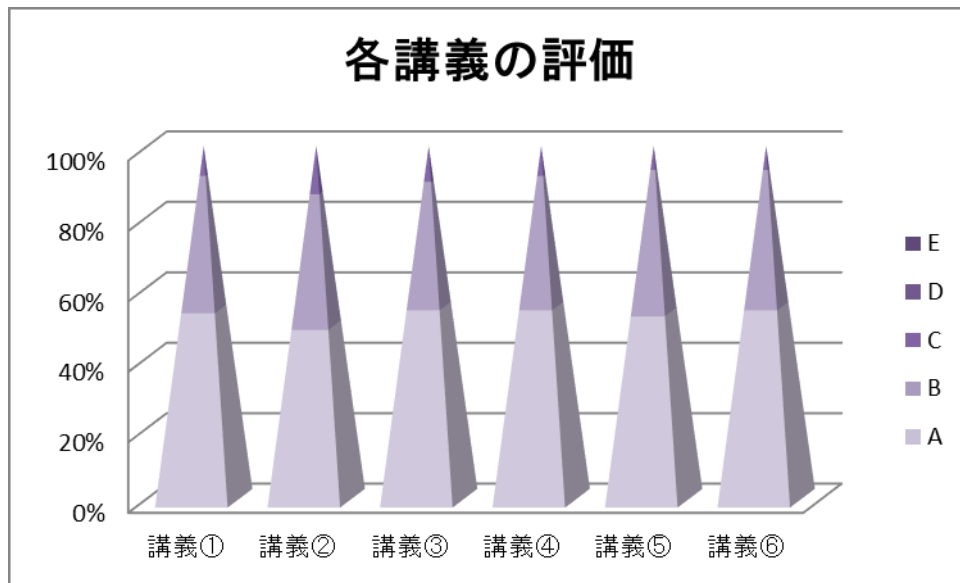
	A	B	C	D
ア 講義担当者には授業に対する熱意が感じられた	99	21	1	0
イ 講義内容は興味深く、示唆に富むものだった	89	31	1	0
ウ 講義の説明は論理的で、どこがポイントか理解しやすかった	82	35	3	1
エ 講義には学生の理解を助ける工夫がなされていた	80	40	1	0
オ 実験担当者には授業に対する熱意が感じられた	89	29	3	0
カ 実験内容は興味深く、示唆に富むものだった	77	34	8	2
キ 実験の説明は論理的で、どこがポイントか理解しやすかった	71	43	5	2
ク 実験には学生の理解を助ける工夫がなされていた	76	38	5	2
ケ この授業を履修して良かった	84	37	0	0



3. 各回の講義内容について

A=とても良かった B=どちらかといえば良かった C=良くも悪くもない
 D=どちらかといえば悪かった E=とても悪かった

	A	B	C	D	E
①大気の成り立ち - 地球の気温はどうやって決まる？ -	65	46	10	0	0
②地球規模の流れ - 低気圧が西風に流されるしくみ -	59	45	15	1	0
③雲と降水 - 雲が浮かび、雨が降る理由 -	66	43	11	1	0
④気象よもやま話 - 日々の天気の舞台裏 -	66	45	10	0	0
⑤明日の天気 - 天気予報の限界とカオス -	64	49	8	0	0
⑥気候の変動 - 地球温暖化と現代物理学 -	66	47	8	0	0



4. 自由記述(以下は主観による抜粋です)

- 気象に興味を持つようになった。気象予報士を目指したい。
- 高校の時に学ばなかった内容を深く学び理解することができた一年でした。
- 様々なトピックを物理の観点から考えることができた。身近な現象に興味をもって生活したい。
- 地球温暖化について、深く考えるようになった。
- 物理が一番苦手で嫌いだったか、この授業で身近で親近感がわくようになった。
- 大学に入って物理を学べる実りある時間。週一回の理数系の授業はいい経験。
- 専門の気象がすごく面白かった。講義の方が圧倒的に好きでした。
- △講義、実験と難しいテーマが多かったが、どれも興味深かった。
- △実験の考察は難しいが、実験自体は楽しかった。
- △実験が理解しきれないが、科学の面白さは多少なりとも理解できたと思う。
- ×計算がとにかく難しかった。

5. 講評

前期同様、講義、実験とも概ね好評であった。ただし、相対的には講義より実験の評価が低くなっている。後期の実験は現代物理を扱う内容が多く、計算も大変なため、難しく感じたようだ。講義を通して、気象に興味をもつ学生がたくさんいたことは素直に嬉しい。理数系の教養の授業を大切にしたいという感想も良かったと思う。自由記述の希望事項も参考に、さらに良い講義・実験を目指していきたい。この授業が、身近な気象に興味を持つきっかけになり、地球の未来を少しでも考える機会になってくれればと思う。